

町税の収納目標 高く設定すべき

問 町税収納率の目標を高く設定すべきでは。
答 納実績を基に設定している。到達できない数字を計上することは考えもの。予

算に掲げた数字はクリアするよう努める。

問 生活保護の母子加算廃止による影響は。

答 本年の出生予定は何人を見込んであるか。出生数の増につながる子育て支援策を考えるべき。

問 本年度の出生予定は何人を見込んであるか。出生数の増につながる子育て支援策を考えるべき。

問 本年度の出生予定は何人を見込んであるか。出生数の増につながる子育て支援策を考えるべき。

住民協働事業 補助の内容は

問 本年度の新規事業である「住民協働推進支援事業」の内容は。

答 本年度の新規事業である「住民協働推進支援事業」の内容は、自治会、コミュニティ組織、自主防災組織、NPOが対象となる。

津波観測システムの 町への情報提供は

問 最新の津波観測システムの情報は、本町にも提供されるか。

答 国が進めている沖合の検潮システムの情報は、町に直接提供されることは無いと思う。

県北・沿岸振興 計画の要望内容

問 県が進めている「県北・沿岸地域振興計画」に対する本町の要望事項は。

答 水産について必要であり厳しい。

「どどっばな」の改良 20年度に検討

問 「どどっばな」の歩道設置を一日でも早く実施することができないか。

答 補助制度などの活用も研究したいので、時間をいただきたい。

消防ポンプ自動車 配備計画の予定

問 消防ポンプ自動車の配備予定は。

答 19年度は、第13分団に配備。20年度は、第1分団。21年度は、第10分団を計画している。

救急車出動要請 住民のモラルが必要

問 救急車の出動状況は、本町に必要な形で出動の要請がされているか。

答 消防防災課 搬送者617人のうち、軽傷者は、203人で全体の約33%。ある程度の住民のモラルは、必要であると考える。

賛成討論

■佐藤照彦 議員
以下の理由で反対する。

第一は、本町では財政難を理由に町独自の政策を後退させてきた。本年度予算を見て、貧困と格差から住民を守る対策が見られない。第二は、少子化に歯止めをかける積極的な対策が見られない。第三は、地場産業の振興策が足りない。第四は、大型公共事業の年度間調整を行うなど事業の選択と集中により、不足している財源を捻出し、緊急に必要な事業に対する手立てを講じてもらいたい。

賛成討論

■生駒利治 議員
厳しい財政状況の中で、

第8次総合発展計画事業を含めた新規事業に3億円近く投入するなど、地場産業への振興を図る積極的な予算編成であると評価する。また、地方債、財政調整基金の繰り出しを減少させるなどプライマリバランスの均衡を図っている。更には、自主財源比率は32%で前年度より約3%の増、歳入に占める一般財源割合は79%で前年度より0.3%増となっており、財政の健全化、財政再建への努力が見受けられる。

■川村敬一 議員
三位一体改革により非常に

厳しい財政状況の中、当初予算が前年度比1.3%増の65億9000万円と6年ぶりのプラス予算となった。長年の懸案事項であった上豊間根会館の建設に対する補助、石峠橋の改修が予算化されるなど明るい兆しが見えてきた。また、プライマリーバランスの均衡を図るため十分に努力されている。本町発展のため、更に奮闘・努力していただくことをお願いし本予算に賛成する。



本年度から新たに開設された北小学区の放課後児童クラブ

土地区画整理事業 完了はいつなのか

問 土地区画整理事業の終了年度見通しは。

答 総事業費は85億円。事業費ベースでの進捗状況は53%。保留地処分、移転の問題などあり当初予定の23年度完成は難しい。19年度中に事業の総括を行い、事業費を組み立て直して、住民説明会を行いたい。

問 区画整理事業の保留

豊間根地区に 公衆トイレを

問 豊間根地区に公衆用トイレを設置することができないか。

答 現状は認識していない。



安全確保のため、早期の歩道設置が望まれる町道前須賀タブの木荘線（通称「どどっばな」付近）